資料２

改定京都府環境基本計画の進捗評価方法について

令和８年８月５日

京都府 総合政策環境部 循環型社会推進課

改定後の環境基本計画の進捗評価方法について

- **令和７年12月に改定された環境基本計画**では、環境の各分野の施策の展開方向や具体的取組等が記載。
- 京都府環境審議会総合政策部会による審議の結果、**各部会において、所管分野の進捗状況評価を行う**こととされた。

Ⅰ 京都府の環境施策の進捗状況を評価（客観的評価）

第５章　分野横断的施策の展開方向

第６章　環境課題の分野ごとの重点取組の推進（2040年目途）

①脱炭素社会と持続可能な経済成長の同時実現に向けた取組の加速化
徹底した省エネの推進、再エネの主力電源化
フロン対策の推進
温室効果ガス吸収源対策・施策

②循環型社会を目指した循環経済への移行の促進
３Ｒ・資源循環の促進、消費者の意識啓発、
プラスチックごみの削減、食品ロスの発生抑制、
環境保全型農業の推進、海岸漂着物対策

京都府の地域特性に応じた取組

③安心・安全な暮らしを支える生活環境の保全と向上
環境モニタリングと情報発信、環境アセスメント、有害化学物質等対策、気候変動適応策、災害時の再エネ導入
災害廃棄物対策、不法投棄の未然防止

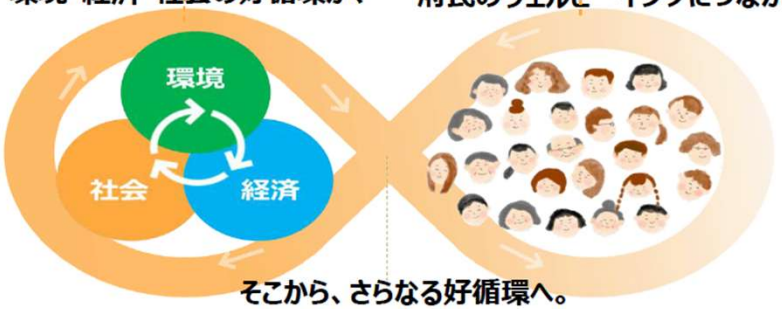
④自然と生活・文化が共生する地域社会の継承
多様な生態系の保全、里地・里山の再生
豊かな農林水産資源の保全・利活用
生物多様性の知見の集積と人材育成、外来生物対策

①施策の取組状況調査による評価
計画に位置付けた取組に対応する京都府の施策が、どの程度進んでいるかを把握

②環境データに基づく状況評価
個別部会においてデータに基づき環境を取り巻く状況について進捗状況を評価

補完

Ⅱ「ウェルビーイング＝府民が幸せを実感できる状態」向上の進捗状況（主観的評価）



③府民の実感を調査
デジタル庁のWell-Being指標の主観的指標と府民意識調査結果を活用して評価

個別部会（脱炭素・循環・管理・自然鳥獣）における進捗状況評価結果により評価

出典：京都府環境審議会　令和８年7月23日総会資料

２　循環型社会を目指した循環経済への移行の促進

施策の展開方向

環境負荷のより少ない物品・サービスの選択が当たり前になるとともに、プラスチックごみをはじめとする廃棄物の３Ｒ・資源循環がより進む循環経済（サーキュラー・エコノミー）が構築され、廃棄物が限りなく削減された循環型社会の実現を促進します。

（１）３Ｒ・資源循環の促進

- 財政支援、人材育成等を通じた２Ｒ技術の開発や普及の促進
- ３Ｒ支援センターにおける資源循環・適正処理情報の集約化　など

（２）消費者の意識啓発

- 府民の脱炭素行動変容を促進し、環境価値の高い商品の購入や選択が「あたりまえ」になる社会に向けた取組を促進　など

（３）プラスチックごみの削減

- 府民の行動変容を促すビジネスモデルの支援
- 代替プラ製品の開発・販売等の支援
- 大規模排出事業所の廃プラ削減の推進　など

（４）食品ロスの発生抑制

- 消費者・事業者への啓発や取組支援によるサプライチェーン全体の食品ロス削減
- 未利用食品の有効活用の促進　など

（５）環境保全型農業の推進

- 温室効果ガス排出量削減に資する栽培技術の普及促進等により、環境保全型農業を積極的に推進　など

（６）流域一帯で取り組む海岸漂着物対策

- 市町、漁業者等と連携した回収・処理
- スポ GOMI などプラスチック問題への意識醸成など

指　標

- 産業廃棄物最終処分量
- １人当たり一般廃棄物排出量

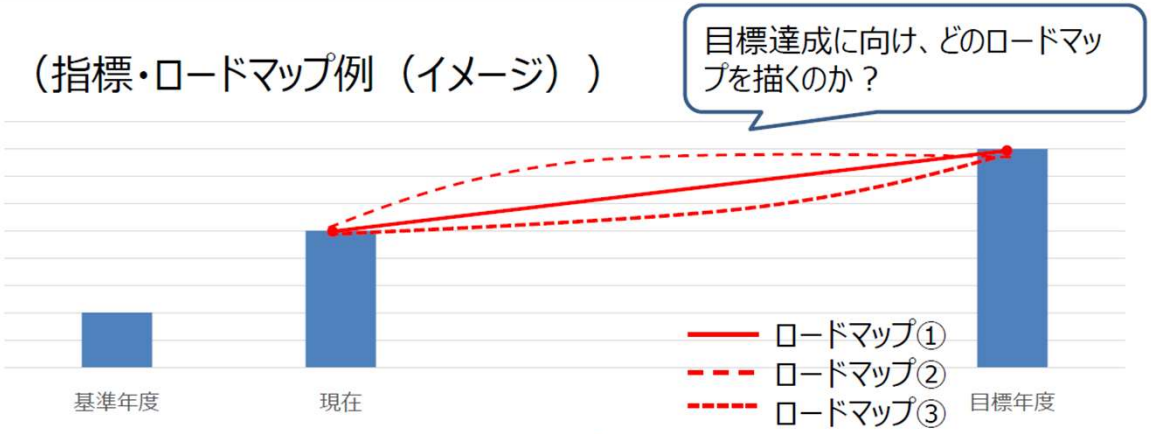
改定後の環境基本計画の進捗評価方法について

- **所管分野**の進捗を把握するための**指標項目を設定**（各部会**３～５個程度**を想定）
  - 指標の設定に当たっては、可能な限り定量的に把握可能であり、継続的にデータ取得が可能なものとする
- 各指標項目について、**目標年度**、**目標数値**、ロードマップ（**各年度の目標数値**）**を設定**
- 毎年度、**各指標項目の目標達成状況**に基づき、**所管分野の進捗を４段階で評価**（例：◎、○、△、×）
  - 各指標項目の目標達成状況から4段階評価への落とし込む考え方は各部会で検討・整理

令和８年度

各部会において、進捗をはかっていくための指標・ロードマップを作成

（指標・ロードマップ例（イメージ））

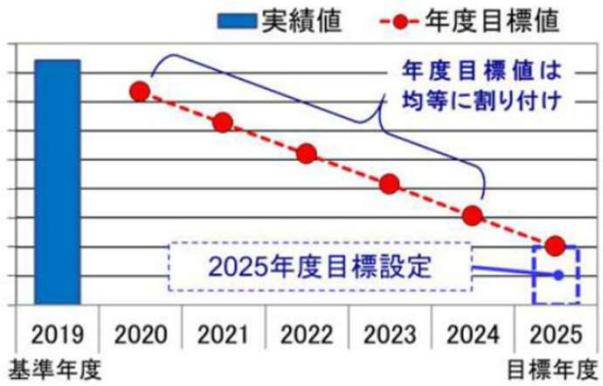


どのようなロードマップで目標達成をするのか
どのように進捗をはかっていくのか
を令和８年度中に検討・決定

令和９年度

各部会において、改定後の環境基本計画の進捗状況評価の運用開始（令和８年度評価）

（参考）京都市の現行環境基本計画の例

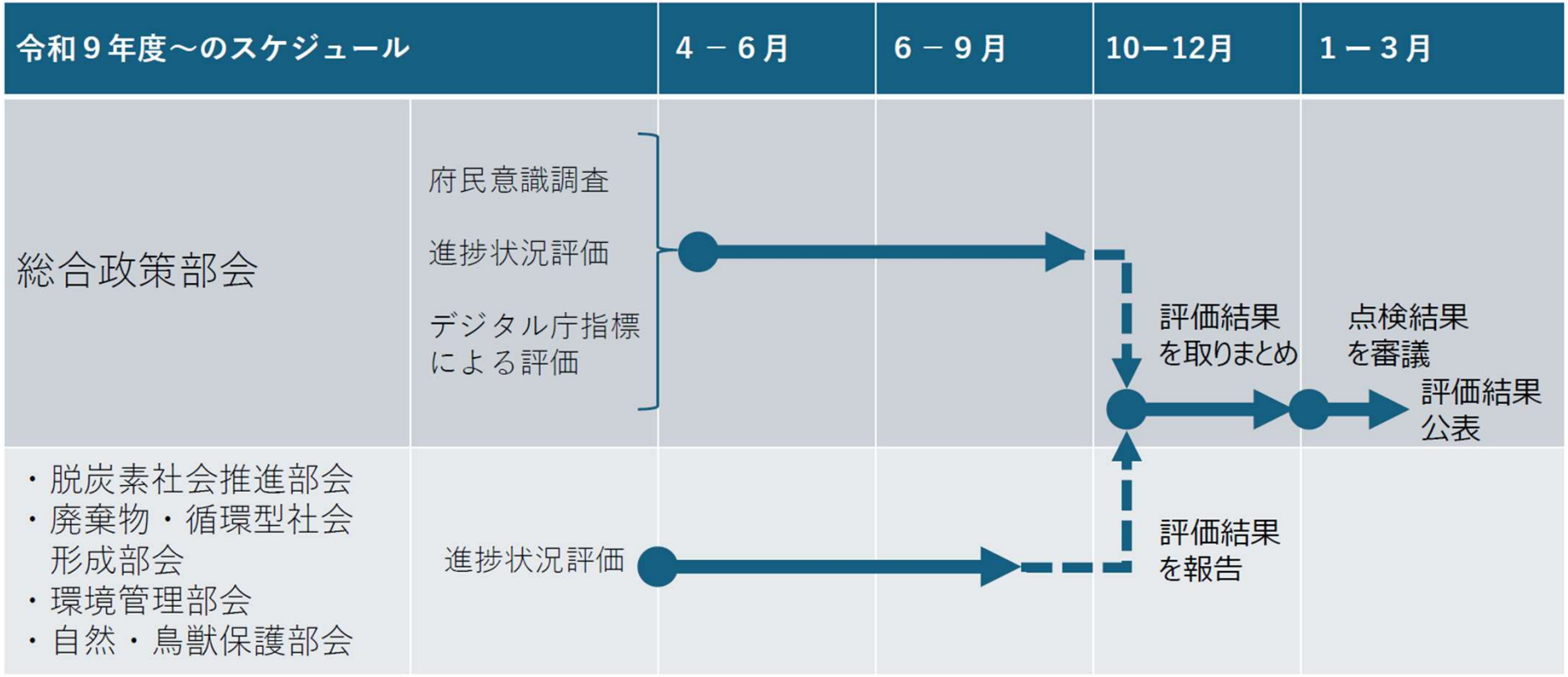


出典：京都府環境審議会　令和８年7月23日総会資料

改定後の環境基本計画の進捗評価方法について

- **令和８年度**末までに、各部会において、所管分野の**指標項目や目標数値の設定**、**４段階評価の方法を検討**する。
- **令和９年度以降は毎年度**、各部会において所管分野の**進捗状況評価**を行い、その結果を総合政策部会に**報告**する。

→ **次回部会で事務局案をお示しする予定**



※ 令和８年度末までに、各部会においてどのようなロードマップで目標達成をするのか、どのように進捗をはかっていくのかを検討。
令和９年度に実施する改定後の環境基本計画の進捗状況評価からこのスケジュールで実施。

出典：京都府環境審議会　令和８年7月23日総会資料